



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月24日

上場取引所 東 名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	109,845	△7.3	5,066	△13.3	5,682	0.4	3,733	△12.7
25年3月期第1四半期	118,516	2.3	5,844	△2.9	5,659	△6.3	4,274	10.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 8,616百万円 (385.2%) 25年3月期第1四半期 1,775百万円 (△62.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.61	—
25年3月期第1四半期	9.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第1四半期	535,258		254,240		41.0	
25年3月期	511,159		245,741		41.5	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 219,522百万円 25年3月期 211,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	1.50	4.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	221,500	△5.2	10,000	4.1	10,000	7.5	5,500	△0.1	12.68
通期	456,500	3.6	21,500	39.4	21,500	30.5	12,000	9.3	27.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	434,487,693 株	25年3月期	434,487,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	745,205 株	25年3月期	740,608 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	433,744,948 株	25年3月期1Q	433,773,302 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
(1)	四半期連結貸借対照表	5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	（継続企業の前提に関する注記）	9
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
	（セグメント情報）	9
4.	補足説明資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が消費者マインドの改善に伴い堅調であったことと、鉱工業生産についても輸出の持ち直しや国内需要が底堅く推移したことから、緩やかな回復を続けてまいりました。特殊鋼の主要需要先である自動車・産業機械需要に関しても、米国自動車販売が堅調に推移していることに加え、前年度後半の在庫調整が底打ちし回復局面に移行したことから、持ち直しの動きが継続いたしました。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、収益改善への取組みを一層強化するとともに、グローバルリーディング商品拡販等の中期事業課題にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、需要動向は回復傾向にあるものの売上数量が政策効果のあった昨年対比では減少したこと等から、前年同期比86億70百万円減収の1,098億45百万円となりました。一方、経常利益につきましては、収益改善効果および円安による為替差益が発生したこと等から、前年同期比22百万円増益の56億82百万円、四半期純利益は37億33百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、自動車および産業機械向け構造用鋼需要が在庫調整局面から反転し回復基調へ移行しましたが、昨年のエコカー補助金等の政策効果が剥落したことなどから、前年対比の売上数量は減少いたしました。一方、工具鋼関連需要については、タイ向け自動車関連需要を中心に輸出が堅調に推移したこと等から前年対比の売上数量は増加いたしました。

こうした需要環境のもと当社におきましては、需要の回復に柔軟に対応しつつ、併せてコスト削減についても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少により前年同期比6.0%減少の442億1百万円となり、営業利益についても前年同期比8億94百万円減益の8億円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレスおよび高合金製品につきましては、産業機械およびHDD向け需要が前年度に発生した大幅な在庫調整が完了したことから、回復局面に移行しております。磁材製品に関しても、FAサーボモーター磁石等の在庫調整影響が緩和傾向にあります。前年同期対比の売上高は横ばいで推移いたしました。粉末製品に関しては、HEV向け軟磁性粉末は堅調に推移しておりますが、一般焼結向け製品の在庫調整があったことから売上高は減少いたしました。チタン製品に関しては、欧州向け輸出は低位に留まったものの、医療向け製品の拡販等によって売上高は増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、ステンレス・高合金等主要製品の販売数量が前年同期対比では減少したことから前年同期比7.0%減少の353億90百万円となりましたが、営業利益については固定費圧縮等のコスト削減効果により、前年同期比1億46百万円増益の28億18百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品につきましては、一部の製品に欧州、中国の景気鈍化影響が見られるものの、プラント関連部材など円安を背景とした需要の拡大があったことから売上高は増加いたしました。型鍛造製品につきましては、受注および生産数量は増加傾向にあるものの、前年同期対比での数量減と販売価格の見直しがあったことから売上高は減少いたしました。鋳鋼・精密鋳造品に関しては、産業機械向け鋳鋼品は低位に留まったもののターボ関連需要が堅調だったことから横ばいで推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比5.8%減少の231億20百万円となりましたが、営業利益については自由鍛造品の売上増加が寄与したことなどから前年同期比1億15百万円増益の12億55百万円となりました。

④エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、アセアン向け工事案件等海外向け売上は順調に拡大しておりますが、前年は磁石製造関連会社向け大型工事があったことから昨年対比の売上高は減少しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は、前年同期比29.6%減少の47億28百万円となり、営業損益についても売上の減少と工事案件の内容変化があったことから前年同期比1億65百万円減益の1億44百万円の損失となりました。

⑤流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、不動産関係の請負工事案件が増加したことから当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比11.2%増加の24億4百万円となり、営業利益についても前年同期比18百万円増益の3億37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ240億99百万円増加し5,352億58百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「現金及び預金」の増加116億92百万円…主としてフリー・キャッシュ・フロー創出による増加。
- ・「投資有価証券」の増加42億40百万円…主としてその他有価証券の時価評価差額増加による増加。

また、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ84億98百万円増加し2,542億40百万円となりました。純資産額の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加34億90百万円…主として四半期純利益37億33百万円の計上による増加。
- ・「その他有価証券評価差額金」の増加33億66百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.0%となり、前連結会計年度末と比べ0.5ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の日本経済は、円安を背景とした輸出の増加や各種の経済対策効果による国内需要の押し上げ等によって今後も回復基調を続けていくことが期待されます。特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械関連需要に関しても、海外需要の拡大と企業収益改善に伴う設備投資の回復によって持ち直し傾向が続いていくと考えられますが、一方、欧州経済の脆弱さや中国経済の成長鈍化など海外経済を中心とした景気下押しリスクも大きく、これらの環境変化による需要動向を注視していく必要があると考えております。また電力、燃料等のエネルギーコストに関しては輸入価格の上昇から増加傾向が続いており、これらの経営課題にも対処していく必要があると考えております。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、徹底したコスト削減への取組みによって収益確保に努めるとともに、知多工場への戦略投資をはじめとする事業基盤の強化と磁石・ターボ部品・粉末材料といった成長商品の拡大戦略を推進してまいります。

当期の連結業績につきましては、需要の回復が期初の想定よりも前倒しで進捗していることと、鉄スクラップ価格が安定的に推移していること等から、第2四半期連結累計期間の予想を売上高2,215億円、営業利益100億円、経常利益100億円、当期純利益55億円と想定しており、前回(平成25年4月30日)公表した業績予想を修正しております。なお、通期の業績予想値については、現段階で下半期の事業環境を見極めることが困難なことから上半期の修正値を踏まえた修正を実施しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,020	63,713
受取手形及び売掛金	87,842	87,757
たな卸資産	94,036	97,264
その他	8,456	6,850
貸倒引当金	△271	△181
流動資産合計	242,084	255,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,242	54,294
機械装置及び運搬具(純額)	62,056	64,735
その他(純額)	46,620	48,031
有形固定資産合計	161,919	167,060
無形固定資産		
のれん	210	199
その他	3,954	4,106
無形固定資産合計	4,165	4,305
投資その他の資産		
投資有価証券	71,787	76,028
その他	31,344	32,604
貸倒引当金	△143	△143
投資その他の資産合計	102,989	108,488
固定資産合計	269,074	279,855
資産合計	511,159	535,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,233	72,118
短期借入金	42,006	45,740
1年内償還予定の社債	10,100	100
未払法人税等	1,761	807
賞与引当金	5,803	2,510
その他の引当金	431	139
その他	17,666	25,067
流動負債合計	144,001	146,484
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	63,430	74,675
退職給付引当金	6,865	6,958
その他の引当金	1,346	1,223
その他	19,774	21,675
固定負債合計	121,416	134,534
負債合計	265,418	281,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	134,789	138,280
自己株式	△347	△349
株主資本合計	200,157	203,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,512	13,878
繰延ヘッジ損益	1	△8
土地再評価差額金	1,654	1,654
為替換算調整勘定	△403	352
その他の包括利益累計額合計	11,764	15,876
少数株主持分	33,819	34,717
純資産合計	245,741	254,240
負債純資産合計	511,159	535,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	118,516	109,845
売上原価	100,427	92,839
売上総利益	18,088	17,005
販売費及び一般管理費	12,244	11,939
営業利益	5,844	5,066
営業外収益		
受取利息	40	33
受取配当金	413	566
持分法による投資利益	189	186
為替差益	—	450
その他	392	309
営業外収益合計	1,036	1,545
営業外費用		
支払利息	542	491
為替差損	293	—
その他	386	437
営業外費用合計	1,221	929
経常利益	5,659	5,682
特別利益		
固定資産売却益	1,398	489
その他	—	0
特別利益合計	1,398	490
特別損失		
投資有価証券評価損	279	—
災害による損失	125	—
その他	90	—
特別損失合計	495	—
税金等調整前四半期純利益	6,563	6,173
法人税、住民税及び事業税	864	646
法人税等調整額	865	1,358
法人税等合計	1,729	2,005
少数株主損益調整前四半期純利益	4,833	4,167
少数株主利益	559	434
四半期純利益	4,274	3,733

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,833	4,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,433	3,432
繰延ヘッジ損益	4	△13
為替換算調整勘定	383	979
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	49
その他の包括利益合計	△3,057	4,448
四半期包括利益	1,775	8,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,230	7,898
少数株主に係る四半期包括利益	545	718

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	47,037	38,060	24,538	6,716	2,162	118,516	—	118,516
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,299	4,210	7,915	404	2,876	32,706	△32,706	—
計	64,336	42,271	32,454	7,120	5,039	151,222	△32,706	118,516
セグメント利益	1,694	2,671	1,139	21	318	5,846	△2	5,844

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	44,201	35,390	23,120	4,728	2,404	109,845	—	109,845
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,312	3,764	6,255	244	2,047	28,625	△28,625	—
計	60,514	39,154	29,376	4,973	4,452	138,471	△28,625	109,845
セグメント利益 又は損失(△)	800	2,818	1,255	△144	337	5,067	△0	5,066

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料

平成25年7月24日
大同特殊鋼株式会社

平成26年3月期 第1四半期決算発表

連 結

(1) 当第1四半期のセグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	25年6月 (前年同期差)		
	第1四半期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	44,201	-2,836	-6.0
機能材料・磁性材料	35,390	-2,670	-7.0
自動車・産業機械部品	23,120	-1,418	-5.8
エンジニアリング	4,728	-1,987	-29.6
流通・サービス	2,404	241	11.2
計	109,845	-8,670	-7.3

(2) 要約連結損益計算書 (四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	25年6月 (前年同期差)		
	第1四半期	増減額	増減率
売上高	109,845	-8,670	-7.3
営業利益	5,066	-778	-13.3
営業外収益	1,545	508	—
営業外費用	929	-292	—
経常利益	5,682	22	0.4
特別利益	490	-908	—
特別損失	0	-495	—
税引前純利益	6,173	-389	—
法人税等	2,005	275	—
少数株主利益	434	-124	—
当期純利益	3,733	-540	-12.7

(3) 当第1四半期の経常利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	24年6月 第1四半期	25年6月 第1四半期	
1. 内容構成差他	4	1. 販売数量減少	10	H2 建値 (千円/t)	24.5	27.2
2. 変動費改善	3	2. 販売価格下落	5	ニッケル(LME) (\$/1b)	7.78	6.78
3. 固定費改善	6	3. 原燃料等市況	5	モリブデン(MD) (\$/1b)	13.8	10.9
4. 営業外損益	7					
計(a)	20	計(b)	20			
		差引(a) - (b)	0			

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 25年3月末	当第1四半期 25年6月末	増減	科目	前期 25年3月末	当第1四半期 25年6月末	増減
流動資産	242,084	255,403	13,318	負債	265,418	281,018	15,600
現金	52,020	63,713	11,692	営業債務	66,233	72,118	5,885
営業債権	87,842	87,757	-85	有利子負債	146,999	151,945	4,945
たな卸資産	94,036	97,264	3,228	その他	52,184	56,953	4,768
その他	8,185	6,668	-1,516	純資産	245,741	254,240	8,498
固定資産	269,074	279,855	10,780	株主資本	200,157	203,645	3,488
有形固定資産	161,919	167,060	5,141	その他の包括利益 累計	11,764	15,876	4,112
無形固定資産	4,165	4,305	140	少数株主持分	33,819	34,717	898
投資その他の資産	102,989	108,488	5,499	負債純資産合計	511,159	535,258	24,099
資産合計	511,159	535,258	24,099				

(5) 第2四半期(累計) 予想セグメント別売上高

(単位:百万円、%)

	予想 (当初予想値との差)			(前年同期差)	
	25年9月期	増減額	増減率	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	88,500	3,200	3.8	-1,675	-1.9
機能材料・磁性材料	70,600	100	0.1	-1,483	-2.1
自動車・産業機械部品	47,200	1,400	3.1	-326	-0.7
エンジン・エアリンク	10,200	-1,700	-14.3	-9,105	-47.2
流通・サービス	5,000	500	11.1	366	7.9
計	221,500	3,500	1.6	-12,224	-5.2

(6) 第2四半期(累計) 業績予想

(単位:百万円、%)

	予想 (当初予想値との差)			(前年同期差)	
	25年9月期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	221,500	3,500	1.6	-12,224	-5.2
営業利益	10,000	3,000	42.9	395	4.1
経常利益	10,000	3,000	42.9	695	7.5
当期純利益	5,500	1,000	22.2	-7	-0.1

(7) 第2四半期(累計) 予想経常利益増減要因(当初予想対比)

(単位:億円)

(参考:原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	当初予想 25年9月期	予想 25年9月期
1. 販売数量増加	1.6	1. 販売価格下落	6		
2. 内容構成差他	2			H2 建値 (千円/t)	30.0
3. 原燃料等市況	1.8			ニッケル(LME) (\$/1b)	8.50
計(a)	3.6	計(b)	6	モリブデン(MD) (\$/1b)	13.0
		差引(a)-(b)	3.0		11.0